

# 第1回北毛圏域周産期・小児救急等医療提供体制の確保に関する検討会議

## 議事概要

日時：令和6年6月21日（金）

19:00～20:30

会場：群馬県庁29階 第1特別会議室  
(WEB併用)

### 1 開会

### 2 あいさつ

○議長から挨拶。

### 3 議事

#### (1) 検討会議の設置について（検討事項及び検討スケジュール）

・設置の趣旨、検討事項、検討スケジュール等について、事務局から説明。

#### (2) 周産期・小児医療の現状について

・事務局から説明。

（説明要旨）

- ・今後も出生数が減少し、小児の人口も減少する中で、一定数の低出生体重児、小児の重症症例や、増加するハイリスク妊娠への対応を行っていく必要がある
- ・周産期・小児医療を担う医師は不足しており、周産期及び小児救急の医療体制の維持は厳しい状況である
- ・県としては、引き続き2.5次保健医療圏で医療機関の連携を強化しながら、対応を図っていきたい
- ・構成員から補足説明。

#### (3) 論点整理及び対応方針について

・事務局から説明。

（説明要旨）

- ①小児救急医療 小児医療センターの移転後も、小児患者の重症度に応じた医療が提供される体制を確保
    - 1-1 24時間365日体制で重症の小児救急患者の受入体制を確保する
    - 1-2 地域の一般的な小児医療を補完する
  - ②周産期医療 小児医療センターの移転後も、ローリスク分娩からハイリスク分娩まで、切れ目のない周産期医療が提供される体制を確保
    - 2-1 どの地域からも安心して妊婦健診を受けられ、分娩施設を受診しやすい環境を整備する
    - 2-2 母体搬送体制を強化する
- さらに、ニーズを見極めながら、更なる取組を検討していく考え

- 構成員：移転後の小児医療センターにおける一般分娩への対応について質問あり。
- 事務局：移転後の対応については、マスタープランを作成する中で検討している。

#### **(4) 具体的な対応策について**

- ・具体的な対応策の素案・たたき台について、事務局から説明。
- ・構成員からセミオープンシステムについて補足説明あり。

##### **① 小児救急医療**

###### **1-1 北毛地域の小児二次救急医療体制の再構築について**

- 構成員：小児医療センター移転後の小児二次救急輪番について質問あり。
- 事務局：具体的な輪番の体制については、小児救急医療対策協議会等で議論したい。

###### **1-2 北毛地域の小児一次医療の支援**

- 構成員：吾妻郡への小児科医師の派遣について要望あり。
- 事務局：今後の支援策について検討していきたい。

##### **② 周産期医療**

###### **2-1 北毛版産科連携システムの推進について**

- 構成員：分娩取扱施設への妊産婦の送迎等の支援について要望あり。
- 事務局：担当部局と連携して対応策を検討していきたい。

###### **2-2 DXによる母体搬送体制の強化について**

- ・質問、意見なし

###### **2-3 広域連携及び人材確保の推進について**

- 構成員：長野県を含む周産期医療の広域連携体制について要望あり。
- 事務局：長野県の医療機関の役割にも目を向けながら連携について考えていきたい。
- 構成員：今後の看護職の育成について要望あり。

#### **4 閉会**

- 事務局から閉会の連絡。